

平成 25 年 7 月 8 日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 沖縄パッシブ住宅

グループの名称: 沖縄木造住宅協同組合

平成24年度  
採択グループ番号: 01-0097-0362

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 比嘉 武 代表者印

代表者所属先: 株式会社 T&T

代表者構成員番号: VI-2

代表者住所: 沖縄県那覇市字銘苅322番地の5

電話番号: (098)867-0708

(グループ事務局)

事務局事業者名: 株式会社 T&T

事務局構成員番号: VI-2

事務局担当者名: 長勢 真貴子 印

事務局郵便番号: 900-0004

事務局住所: 沖縄県那覇市字銘苅322番地の5

事務局電話番号: 0988675745

事務局FAX: 0988670776

事務局担当者E-mail: info@okinawa-mokuzou.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	沖縄パッシブ住宅		
2. グループの名称(必須)	沖縄木造住宅協同組合		
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	沖縄全域		
4. 結成年月(必須)	平成21年9月		
5. グループ代表者名(必須)	比嘉 武		
6. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 T&T		
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2		
8. グループ代表者所在地(必須)	沖縄県那覇市字銘苅322番地の5		
9. グループ代表者電話番号(必須)	(098)867-0708		
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 T&T		
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-2		
12. グループ事務局担当者名(必須)	長勢 真貴子		
13. グループ事務局郵便番号(必須)	900-0004		
14. グループ事務局所在地(必須)	沖縄県那覇市字銘苅322番地の5		
15. グループ事務局電話番号(必須)	0988675745		
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0988670776		
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@okinawa-mokuzou.jp		
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。			
I. 原木供給	4	/	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4		
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2		
IV. プレカット	2		
V. 設計	4		
VI. 施工	5		
VII. 木材を扱わない流通	1		
VIII. I～VII以外の業種	2		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	かごしま材	鹿児島県	かごしま材の証明
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度
	合法木材	全国	SGEC認証制度
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅	昨年度の実績に基づいて今年度は各工務店1棟を目標として設定。	
	67 戸	5 戸	
	地域型住宅による地域材使用予定	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
うち長期優良住宅分	地域型住宅には約7m <sup>3</sup> 以上の木材を使用することから地域材使用予定数を設定。		
469 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup>		
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	これまで長期優良住宅への取組みが少ない工務店や受注が確実視されている工務店へ優先に配分していく		
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み
	4 戸	3 戸	竣工済 1 戸 竣工予定 2 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

















1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 沖縄パッシブ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 沖縄木造住宅協同組合	(結成年月) 平成21年9月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 0 9 7 - 0 3 6 2	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<b>a.【地域型住宅「沖縄パッシブ住宅」の取り組み】</b> 1) 亜熱帯気候でVI地域に属し、高温多湿な気候が長く続き夏の日射が強い。 2) 平均風速は5.0m/s程度あり、自然風を取り入れる開放的な民家や歴史的町並みが残っている。 3) 地震係数は最低の0.7であるが、実際は全国平均的地震が発生し、被害が生じる可能性がある。 4) 沖縄は戦後コンクリート住宅が主であり、住宅に使用できる木材の生産体制が構築できない。 5) 九州地方の木材は生産体制がしっかりしており、安定して品質の高い木材が供給が可能。 <b>●地域型住宅の特徴、具体像等</b> 1) 自然風を有効に取り入れた設計と日射熱を遮蔽して涼しい家。 2) 地震でも安心できる家。 3) 次世代省エネ基準を満たした蒸暑地域型住宅。 <b>●平成24年度の取組における課題</b> 1) 平成24年度として2戸の採択を受け、各組合員が利用できるように4戸に分割を行ったが、実績としては3戸であった。工務店に技術差があり1工務店でしか長期優良住宅を建築を行う事ができなかった。 2) 地域材の使用を100%としたことにより梁の材質が制限され間取りに制限があった。 <b>●課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) グループ事務局が支援を行いノウハウの普及を図る。 2) 造構造材は地域材の使用を過半に変更する。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等 (性能や地域性等)における共通ルール (任意)	主要構造材において地域材の過半の使用を義務付ける。羽柄材にも過半の材は地域材を使用する。 遮熱材を使用し、自然風を取り入れる間取り。	流通時の納品伝票、証明書を添付。 設計図書、施工写真、風の流れ図により確認する。
イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<b>a.【住宅生産体制の強化に向けた取り組み】</b> 1) グループ内で統一した流通経路を構築することで、効率のよい生産体制を構築する。 2) グループとして安定した供給体制の整備の為、定期的に開催している理事会にて、行政や関係団体と連絡を取りながら情報交換・共有を行い、収集した情報は内外へと公開していく。 <b>●平成24年度の取組における課題</b> 1) 慣れていない構成員がいるため支援が必要。 2) 資材購入のメリットを出すことができなかった。 <b>●課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) グループ事務局が支援を行いノウハウの普及を図る。 2) グループとしてネットワークを拡大して仕入れ価格を工夫していく。		
<b>b.【住宅生産体制におけるグループの信頼性向上に資する取り組み】</b> 1) 組合が定めた施工基準に基づいた高品質な施工。 2) 住宅瑕疵保険に加入し、現場検査を行い瑕疵についての確実な履行。 3) 工務店サポートセンター指定の工事管理台帳を使った施工箇所の記録と施工仕様への対応の確認。 <b>●平成24年度の取組における課題</b> 1) 沖縄県で本事業の知名度が低い。 2) 慣れていない構成員がいるため支援が必要。 <b>●課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) 事務局ホームページにより組合の活動を発信する。メディアなどを利用して広報活動を行う。 2) グループ事務局が支援を行いノウハウの普及を図る。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼性向上に資する取組における共通ルール (任意)	当グループ事業者を介した供給経路 施工検査に基づく品質の確保	流通時の納品伝票、証明書を添付。 住宅瑕疵保険の保険証の写しを提出。

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 沖縄パッシブ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 沖縄木造住宅協同組合	(結成年月) 平成21年9月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 0 9 7 - 0 3 6 2	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a. 【住宅の長寿化にむけて履歴情報の蓄積、定期点検の充実化、住まい手参加の啓蒙】

- 1) 維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報として「いえもり・かるて」(情報サービス機関)に蓄積。
- 2) 指定期間(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)の点検の実施と完了報告の義務化。
- 3) 住宅引渡時にお施主に、日常の清掃とお手入れが重要であることを「JBN住まいの管理手帳」を使い住宅のお手入れの仕方を説明。
- 4) 事務局による書類の管理。
- 平成24年度の取組における課題
  - 1) 定期点検の方法について、メンバーに不慣れがある。
  - 2) 書類作成になれていないため、時間がかかった。
- 課題解決に向けた平成25年度の取組み
  - 1) グループ事務局が協力をして書類整備、アドバイスをを行う。

b. 【家まもり工務店の継続】

- 1) 施工者・事務局への住宅履歴情報サービス機関からの指定点検時期の告知、および事務局への点検完了報告の義務化と未報告者への事務局からの督促。
- 2) 廃業工務店が出た場合、事務局より以降のメンテナンスを行う工務店を建て主に対して紹介を行う。
- 平成24年度の取組における課題
  - 1) 実際に廃業工務店が出た場合の検討が必要。
- 課題解決に向けた平成25年度の取組み
  - 1) 組合にて廃業工務店が出た場合の選定方法や引継に関するルールなどの対応方針を話し合っていく。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール(任意)	指定期間の点検の実施と完了報告の義務化。	維持管理計画書により確認。
住宅履歴情報の保存方法(任意)	「いえもり・かるて」(情報サービス機関)の利用。	住宅履歴預かり書により確認。

エ. グループの技術力の向上 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a. 【長期優良住宅未経験の施行者のバックアップ】

- 1) 知識や技術力継承のための研修会の開催。
- 2) 組合員相互の技術情報の共有化。
- 平成24年度の取組における課題
  - 1) 勉強会を開催したが構成員に技術を伝えるのが難しかった。
  - 2) 長期優良住宅を建築できる工務店が少ない。
- 課題解決に向けた平成25年度の取組み
  - 1) 継続的に勉強できる場を計画する。
  - 2) グループ事務局が支援を行い技術の普及を図る。
  - 3) 工務店サポートセンターの協力指導を受け、設計実務に関する研修会や施工に関する研修会を実施する。

b. 【新たな技術等の導入・開発(省エネ基準法義務化)等への対応】

- 1) 設計実務に関する研修会や施工に関する研修会を実施する。
- 2) 省エネ技術の適合技術を勉強できる機会を事務局として設ける。
- 平成24年度の取組における課題
  - 1) 離島という地域性があり情報収集や研修会など本土と比べて格差を感じている。
  - 2) 全国に比べて現場対応が遅れている。
- 課題解決に向けた平成25年度の取組み
  - 1) 可能なかぎり情報収集に努めて各構成員へ情報伝達を行う。
  - 2) 沖縄で研修会が開催できるように工務店サポートセンターへも働きかける。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール(任意)	組合が定めた施工基準に基づいた高品質な施工。	施工記録と写真を施工報告書として提出。

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 沖縄パッシブ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 沖縄木造住宅協同組合	(結成年月) 平成21年9月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 0 9 7 - 0 3 6 2 注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a, 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p><b>a. 【地域材の使用部位、使用量、割合】</b></p> <p>1) 沖縄は戦後コンクリート住宅が主であり、住宅に使用できる木材の生産体制が構築できない。 2) 九州地方の木材は生産体制がしっかりしており、安定して品質の高い木材が供給が可能。 ●平成24年度の取組における課題 1) 地域材の使用を100%としたことにより梁の材質が制限され間取りに制限があった。 ●<b>課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) 造構造材は地域材の使用を過半に変更する。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材において地域材の過半の使用を義務付ける。羽柄材にも過半の材は地域材を使用する。	流通時の納品伝票、証明書を添付。
<p><b>b. 【住まい手へのグループの認知と情報共有】</b></p> <p>1) 良質な木造住宅を普及させていく事で、県内の木造住宅の普及体制の構築に貢献する。 2) 工務店サポートセンターの協力指導を受け、設計実務に関する研修会や施工に関する研修会を実施する。 ●平成24年度の取組における課題 1) 離島という地域性があり情報収集や研修会など本土と比べて格差を感じている。 ●<b>課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) 可能なかぎり情報収集に努めて各構成員へ情報伝達を行う。沖縄で研修会が開催できるように工務店サポートセンターへも働きかけ</p>		
<p><b>c. 【優良住宅を普及させる取組み】</b></p> <p>1) 県内で良質な木造住宅を普及させていく事で、県内の木造住宅の普及体制の構築に貢献する。 ●平成24年度の取組における課題 1) ブランド化事業に採択されたが、組合員を増やすことができなかった。 ●<b>課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) 組合の活動を発信して組合員の加盟を促す。</p>		
<p><b>d. 【地域の街並み・景観ガイドライン等の適合性】</b></p> <p>沖縄県では、「沖縄県住生活基本計画」において「誰もが安心して心地よく暮らせる 美ら島(ちゅらしま) 沖縄(うちなー)」を基本方針としている。 沖縄パッシブ住宅は、良質な住宅を安心して長くすまえる住宅として地域の気候風土を取り入れた長期優良住宅としている。 この点からも、沖縄県が目指す住宅のあり方に沿った住宅であると考えている。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)	地域の街並みに合わせた家づくりを行う。	地区計画の適合通知書の写しを添付。
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p><b>【農林水産業の活性化に対する取り組み】</b></p> <p>1) 木造住宅建築を通して地域材を使用し、木材利用ポイントなどを活用して、農林水産業の活性化に貢献する。 ●平成24年度の取組における課題 1) 地域材の使用に不慣れな工務店が多く、流通が複雑であった。 ●<b>課題解決に向けた平成25年度の取組み</b> 1) グループ事務局が支援を行い、地域材の普及を図る。</p>		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。

## グループ構成員（施工）の登録情報の変更申請

グループ番号	0	3	—	0	4	0	0	—	0	4	8	0
グループ名称	沖縄木造住宅協同組合											

### 変更の内容（施工構成員）

No	VI-1	事業者名	株式会社 住太郎ホーム
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号	〒904-0035	〒900-0012	
所在地	沖縄市南桃原 4-31-33	那覇市泊 2-15-9 3階	
電話番号	098-989-1083	098-943-5077	

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			

No		事業者名	
変更項目	変更前		変更後
事業者名			
代表者名			
郵便番号			
所在地			
電話番号			